

東北SDGs未来都市サミット in 仙台 共同宣言文

私たちが暮らす東北地方は、豊かな自然の恵みに支えられる一方で、地震や津波、豪雨、豪雪など、多くの災害を経験してきた地域でもあります。これらの経験から得られた知見と教訓は次の世代へ継承すべき重要なものであり、現代を生きる我々には、環境と調和しながら災害に強いまちづくりを進めていく責務があります。

また、東北地方は、全国に先行して人口減少や少子高齢化が進行しており、地域経済やコミュニティの維持など、深刻な課題に直面しています。こうした状況にあるからこそ、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を指針とし、包摂的で持続可能な社会の実現に向けた取組を一層推進していく必要があります。

私たちは東北地方のSDGs未来都市として、本サミットを通じて以下のことを共通の方向性として共有し、その実現に向けて、取組を進めることをここに宣言します。

1. レジリエンスなまちづくりの推進

災害の経験から得られた知見と教訓を最大限に活かし、人と自然が調和しながらも、強靱性と回復力を兼ね備えたまちづくりを推進します。

2. 環境と経済の好循環による持続可能な社会の構築

資源循環の推進や再生可能エネルギーの導入促進など、脱炭素社会の実現に向けた取組を通して、環境と経済の好循環を創出し、持続可能な社会の構築を図ります。

3. 東北地方における連携の強化と国内外への発信

人口減少等により顕在化する課題の解決に向け、東北各地において蓄積された知見や取組成果の共有を推進するとともに、広域的な連携を強化します。また、先進的な事例や成果を国内外へ積極的に発信し、SDGsの達成に貢献します。